施工説明書

TOTO

たためるベンチ EWA220

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　　味	表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。
❗	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

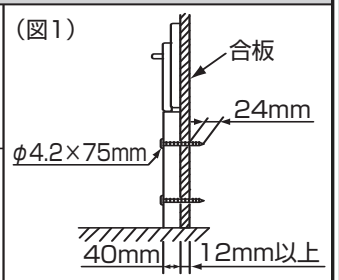
⚠警告

必ず実行

壁面の強度を確認する
厚さ12mm以上の合板が目安となります。（図1参照）
強度が足りないと商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

補強板は厚さが12mm～20mmの板を使用する
これ以上厚い補強板を使うと、収納時、座板が壁側に押しつけられ、商品が破損し、けがをする原因になります。

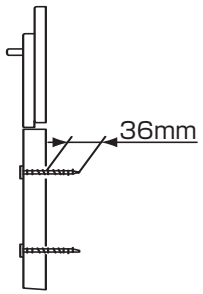
（図1）



下地が石膏ボードなどで十分な強度がない場合には、別売りの手すり用後付け補強板などを使用する
強度が足りないと商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

ねじは商品の後方に36mm突き出るため、壁面背部にねじと干渉するような設備がないことを十分確認してから施工する（図2参照）
例えば他商品の電源線を傷つけると、火災・漏電・感電する原因になります。

（図2）



同梱のφ4.2×75mmの本体固定ねじで固定する
それ以外のねじで固定すると、強度が足りず商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

⚠警告

必ず実行

指定した範囲内で商品を取り付ける
守らないと強度が不十分で商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

作業中に木部が割れた場合は商品の取り付けをやめる
無理に取り付けて商品を使用すると商品が破損し、けがをする原因になります。

固定ねじはしっかりと固定する
商品がガタついたり壁から外れたりするとけがをする原因になります。

アジャスターは、ベンチを収納したとき、板にぶつからない長さ以内で調整する
伸ばしすぎると、アジャスターが抜けて、けがをする原因になります。

禁止

水のかかる場所や屋外では使用しない
木が腐食したり、金属部分が錆びて商品が破損し、けがをする原因になります。

体重が100kgを超える方は使用しない
商品が破損し、けがをする原因になります。

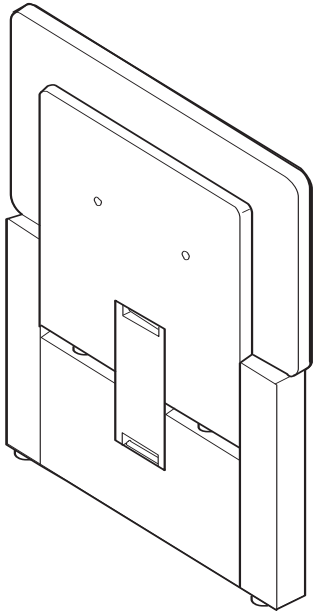
⚠注意

禁止

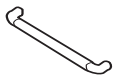
アジャスターにはポリウレタンを使用しているため、床面がクッションフロア(塩化ビニール製床面)や、プラスチック系の床材・大理石には設置しない
溶着したり、色移りすることがあります。また、商品使用時には大きな荷重がかかるため、床材の種類によらずポリウレタンの跡がつく可能性があります。

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



ベンチ本体（1台）



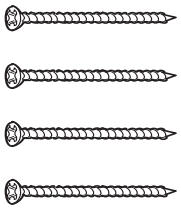
取っ手（1個）

平座金（6枚）

小ねじ（2個）

ねじキャップ（4個）

キャップ止め金具（4個）



本体固定ねじ（4本）
φ4.2×75mm

取扱説明書

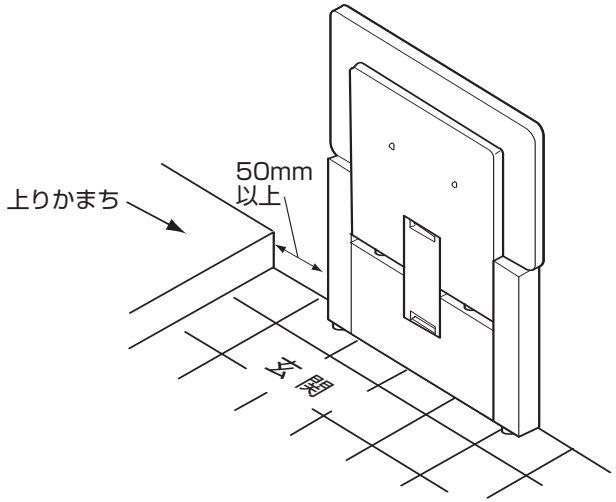
施工説明書

※プラスドライバー（長さ200mm以下）を別途ご準備ください。

3-1 商品の取り付け（壁が木の場合）

1 商品取付位置の確認

商品を設置する場所を決めてください。（下図は例です）



⚠警告

必ず実行

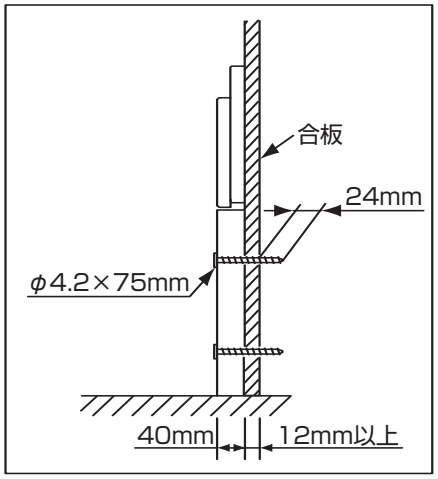
商品取り付けの際に、上りかまちなどの段差と近づける場合は、すき間を50mm以上あける

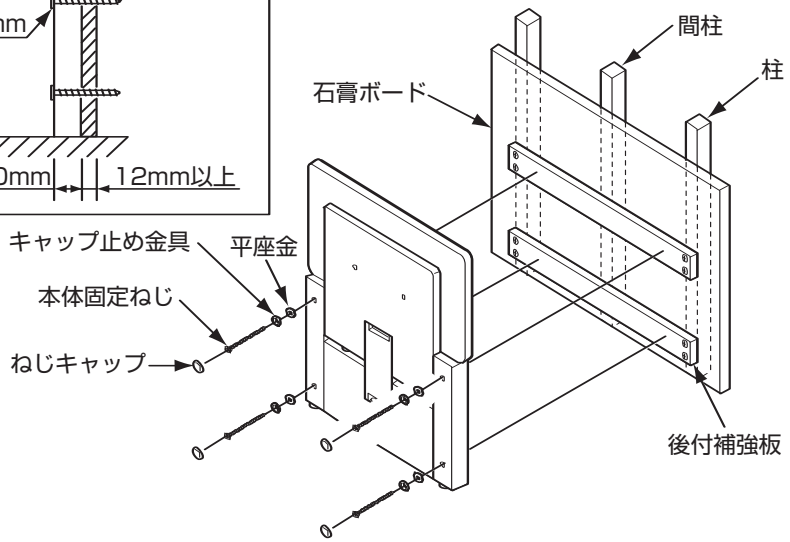
すき間が狭いとベンチ開閉の際に指などが挟まって、けがをする原因になります。

2 壁強度の確認

商品を取り付ける壁の強度を確認します。
厚さ12mm以上の合板が目安となります。下地が石膏ボードなどで強度が十分でない場合には、別売りの手すり用後付け補強板などをご使用ください。

補強板は次の「 3-3 3 本体下穴の位置決め」で決める下穴の位置に合わせて取り付けてください。





⚠警告

必ず実行

補強板は厚さが12mm～20mmの板をご使用する

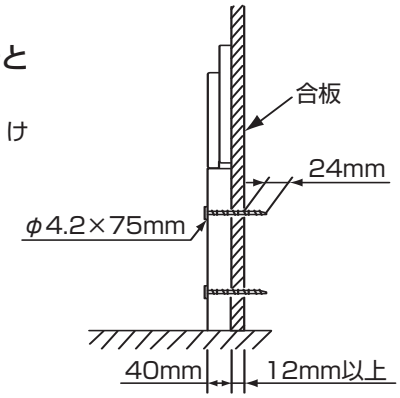
これ以上厚い補強板を使うと、収納時、座板が壁側に押しつけられ、商品が破損し、けがをする原因になります。

⚠警告

必ず実行

壁面の強度を確認する
厚さ12mm以上の合板が目安となります。

強度が足りないと商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

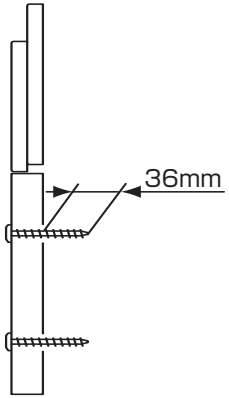


下地が石膏ボードなどで十分な強度がない場合には、別売りの手すり用後付け補強板などを使用する

強度が足りないと商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

ねじは商品の後方に36mm突き出るため、壁面背部にねじと干渉するような設備がないことを十分確認してから施工する

例えば他商品の電源線を傷つけると、火災・漏電・感電の原因になります。



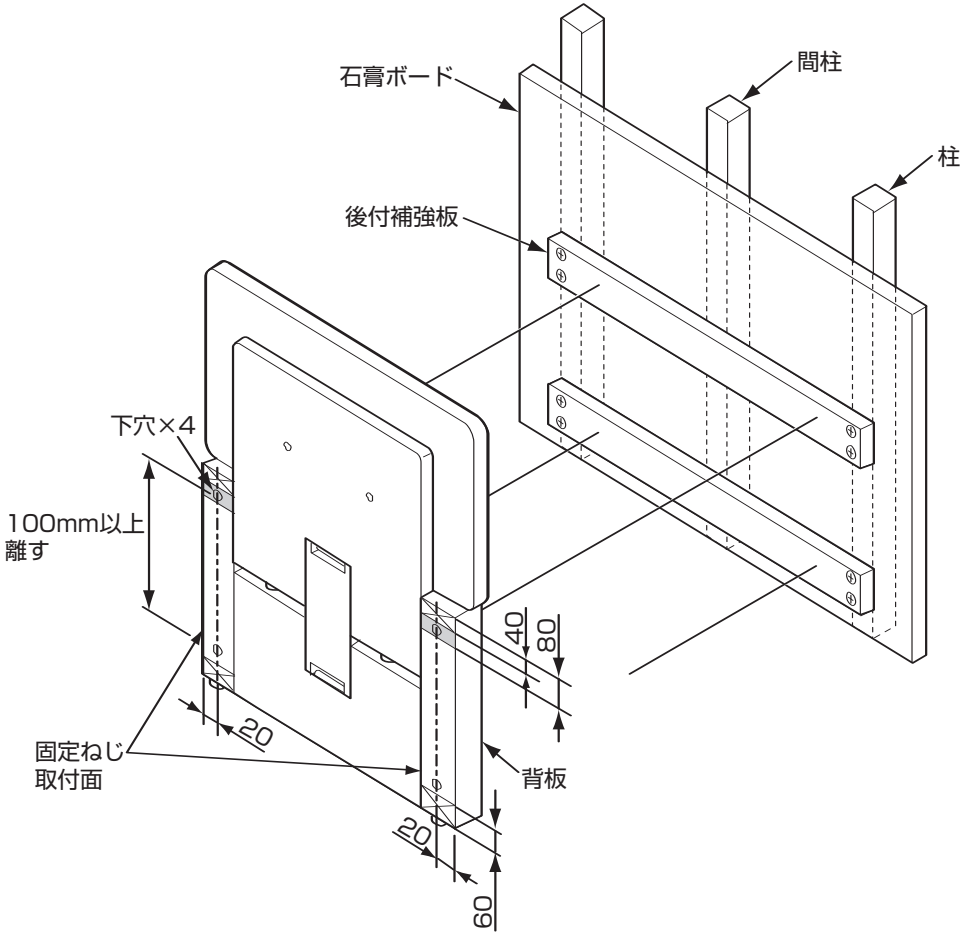
禁止

商品を一度取り付けて、やり直しのため取り外した場合は、同じ場所に取り付けない

ねじがきかず、商品が壁から外れてけがをする原因になります。

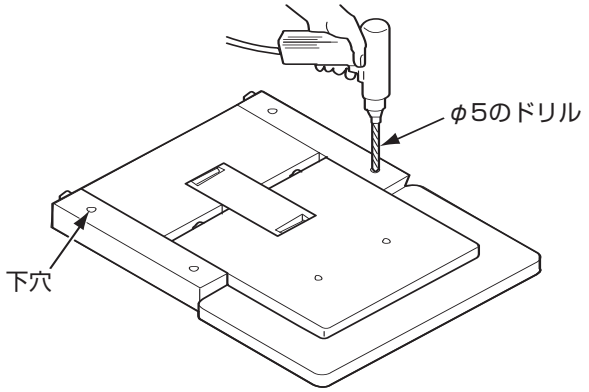
3 本体下穴の位置決め

本体固定ねじをねじ込むための下穴の位置を決めます。
下穴は、固定ねじ取付面の上・下に各2カ所にあけます。
上側の2カ所は図の灰色で示した範囲内にあけてください。
下側の2カ所は上側の下穴位置から100mm以上離してください。なるべく離した方が安定します。
図の ⊠ の範囲には下穴をあけないでください。背板が割れる可能性があります。



4 下穴加工

「 3-3 3 本体下穴の位置決め」で決めた位置にφ5のドリルで穴をあけます。



※穴位置をけがいたあと、商品を外して下穴をあけてください。
※加工後、ドリルが熱くなるのでご注意ください。

⚠警告

必ず実行

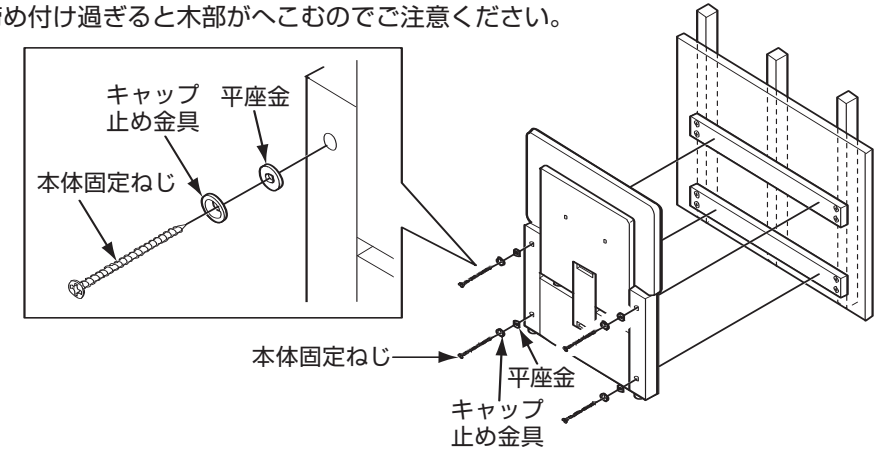
指定した範囲内で商品を取り付ける
守らないと強度が不十分で商品が壁から外れ、けがをする原因になります。

作業中に木部が割れた場合は商品の取り付けをやめる
無理に取り付けて使用すると商品が破損し、けがをする原因になります。

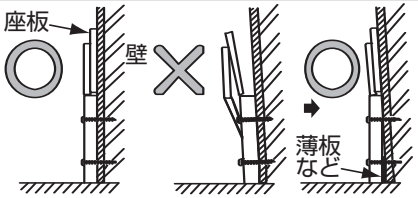
裏面へつづく

5 商品の固定

本体固定ねじ4本にキャップ止め金具、平座金を通し、「3-3 4 下穴加工」であけた下穴にプラスドライバーでねじ込み、壁面にしっかり固定します。
締め付け過ぎると木部がへこむのでご注意ください。



ベンチを収納したとき、座板が垂直になることを確認してください。
座板が前へ垂れる場合は、商品が垂直に取り付いていない可能性があります。商品と壁との間に薄板などのスペーサーを挟んで調整してください。



⚠警告

必ず実行

固定ねじはしっかりと固定する

商品がガタついたり壁から外れたりするとけがをする原因になります。

⚠注意

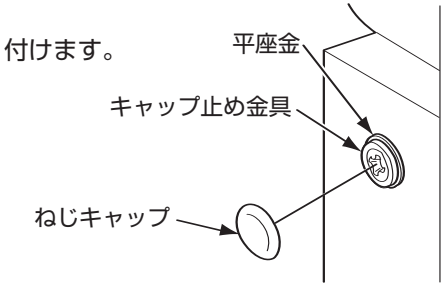
必ず実行

ドライバー先端が商品にあたらないよう気を付ける

商品に傷がつく原因になります。

6 ねじキャップの取付け

キャップ止め金具にねじキャップを取り付けます。



7 前板の不陸調整

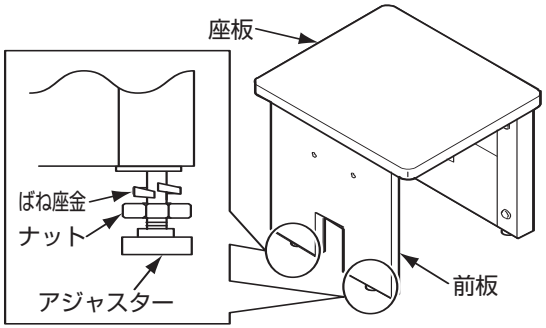
ベンチを開いたとき、前板下側のアジャスターが2個とも床面に着地するようにアジャスターを調整してください。
調整後はねじがゆるまないようにアジャスターを保持し、ナットをしっかりと締め付けてください。

⚠警告

必ず実行

アジャスターは、ベンチを収納したとき、板にぶつからない長さ以内で調整する

伸ばしすぎると、アジャスターが抜けて、けがをする原因になります。

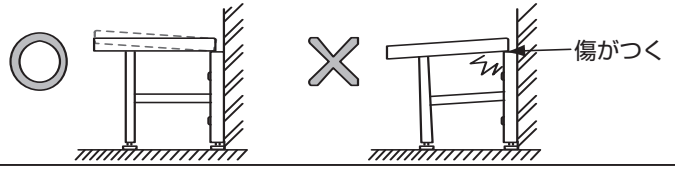


⚠注意

必ず実行

アジャスターは、ベンチを開いたとき、ベンチの座板が水平または手前側が少し上がった状態になるよう調整する

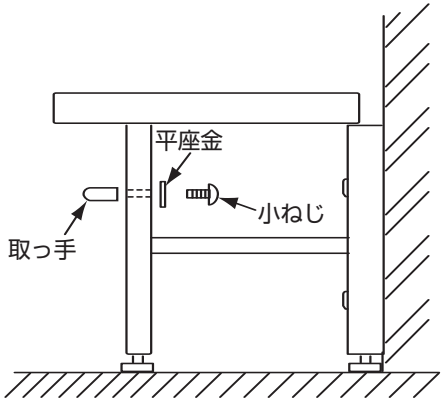
手前側が下がった状態になると、商品が傷つく原因になります。



8 取っ手の取り付け

小ねじ2本に平座金を通し、小ねじを前板にあいている下穴に通し、プラスドライバー（長さ200mm以内のもの）で、取っ手をしっかり固定します。

小ねじを締め付け過ぎると、木部がへこむのでご注意ください。



⚠注意

必ず実行

ドライバー先端が商品にあたらないよう気を付ける

商品に傷がつく原因になります。

9 商品取り付け後のチェック

商品を操作し、ガタツキがないかチェックしてください。

ガタがある場合

■「 3-4 5 商品の固定」がしっかり行われているか。

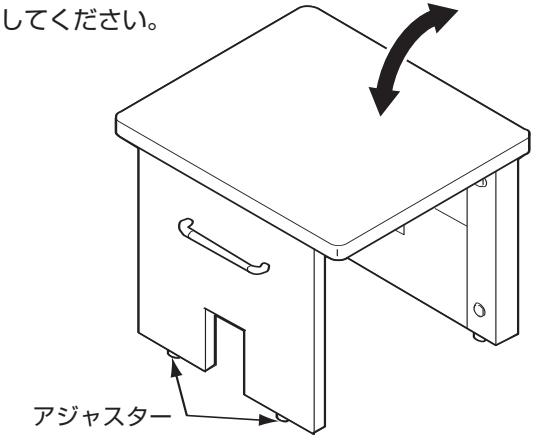
また、ベンチを収納したとき、座板が垂直になることを確認してください。

垂直にならない場合

■「 3-4 5 商品の固定」を確認してください。

■「 3-4 7 前板の不陸調整」がしっかり行われているか。

以上を確認してください。



※アジャスターが床面から少し浮き上がることがありますが、故障ではありません。
ばねの反力によるものです。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。